

Migration Manager for Exchange

Exchange 2016またはOffice 365をZeroIMPACTにより移行、統合し、共存

Exchangeの移行と統合は、多大な労力と時間が必要な上、リスクを伴うこともあります。また、業務の中断、厳しいスケジュール、限られた予算とリソース、プロジェクトの複雑さなどの課題に対処しつつ、可能な限りスケジュールを前倒しにして、プロジェクトを着実に進行させなければなりません。ITスタッフの評価もここにかかっています。ご心配には及びません。Questが支援します。

Migration Manager for Exchangeは、Exchange環境やOffice 365環境の統合に伴うリスクを解消します。このソリューションによって、次のことが可能になります。

- メールボックス、パブリックフォルダ、予定表の情報を同期します。
- 移行プロジェクト全体を通じて共存を維持します。

Migration Managerが誇る自動化機能、高度なプロジェクト管理、および受賞歴を誇る年中無休のテクニカルサポートにより、最小限の労力で移行を行うことが可能です。

特長

ZeroIMPACTの移行 — 移行の状況にかかわらず、ワークステーション、リソース、およびEメールにユーザーがアクセスできるため、ビジネス継続性を確保できます。移行中もユーザーの業務が中断されないため、ヘルプデスクが別の優先事項に注力できます。

直接同期 — メールボックス、配布グループ、予定表、およびパブリックフォルダを並行して直接同期させることで、移行済みのユーザーと移行が済んでいないユーザーを真の意味で共存させることが可能です。

パブリックフォルダの移行 — オンプレミスのパブリックフォルダの移行と共存を実現できるため、移行プロジェクトの期間中でも、ユーザーが引き続きパブリックフォルダを使用できます。Migration Managerでは、移行プロジェクトの期間中に、パブリックフォルダ用のごみ箱を作成します。これにより、パブリックフォルダおよびパブリックフォルダ内のアイテムが移行中に削除されてしまった場合に、問題の影響を最小限に抑えることができます。

「移行はスムーズに行われ、データロスや予定外のダウンタイムもありませんでした。実際に移行でトラブルに遭遇したユーザーはわずか1%で、これは驚異的な低さと言えます。」

Andy Spurway氏、情報サービスデリバリー責任者、Wiltshire Council

メリット:

- 移行、統合、および再構築のプロジェクトに関するリスクを軽減
- ユーザーは、移行が進行中であることにまったく気付くことなく作業を継続可能
- 移行に関するヘルプデスクへの問い合わせの増加を回避
- プロジェクトのスケジュールを短縮して、プロジェクトを予定通りに予算内で完了
- 各ワークステーションに移動してプロファイルを更新する必要性を排除
- 業務時間外だけでなく、希望するタイミングで移行を実施
- 使用するリソース量を削減
- 管理に関する最新のレポートを自動作成（ユーザーによる操作は不要）

ZeroIMPACTによるExchangeの移行



システム要件

プラットフォーム

インテルx86

AMD 64

インテルEM64T

メモリ

1 GB以上

ハードディスク容量

300 MB

オペレーティングシステム

Microsoft Windows Server
2012 (x64 Edition)

Microsoft Windows Server
2012 R2 (x64 Edition)

Microsoft Windows Server
2008 R2 Service Pack 1以降
(x64 Edition)

Microsoft Windows 7 Service
Pack 1以降 (x64 Edition)

追加ソフトウェア

バージョン6.5.8190.0以降の
Microsoft Exchange Server
MAPIクライアントおよび
Collaboration Data Objects 1.2.1

ライプレポート作成 — 情報に基づく意思決定やExchange移行プロジェクトの管理のために、レポート作成が必要となる場合があります。Migration Managerでは、移行のステータスをリアルタイムで把握でき、問題発生時のトラブルシューティングの機能も備えています。

包括的な管理ツール — 単一のインターフェイスによる管理が可能のため、複数のアプリケーションを切り替えながらさまざまな管理機能を実行する必要がなくなります。Migration Managerを使えば、複数のユーザーの移行を詳細に制御することができます。

分散アーキテクチャ — 分散アーキテクチャにより、必要なネットワーク帯域幅を減らし、Exchangeへの移行プロセスや同期プロセスを迅速に行えるようになります。Migration Managerのコンソールを経由せず、ソースとターゲットのExchange Server間ですべてのデータをルーティングできます。

自動アップデート — 自動化を通じて、エラーが発生するリスクを低減し、貴重な管理時間を節約できます。移行済みの各ユーザーがネットワークにログオンすると、それぞれのOutlook®プロファイルは自動的に更新されるため、各ワークステーションにアクセスしてプロファイルを手動で再設定する必要はありません。

移行のスケジュール設定 — 情報の収集を異なる時期に行い、プロジェクトマネージャが選んだ日時やタイミングで移行のスケジュールを設定できるため、複雑な統合プロジェクトでもフレキシブルに対応することができます。

サービスとサポート — Questの経験豊富なプロフェッショナル・サービス・チームと24時間365日体制の製品サポートにより、移行を成功に導きます。Exchangeの統合プロジェクトに伴うリスクに対処するため、Questはワールドクラスのサポートを提供し、予定の時間内と予算内で移行プロジェクトを完了できるようお手伝いします。

QUESTについて

Questは、単調な管理タスクを減らし、ビジネスの成長に必要なイノベーションに集中できるよう、お客様をサポートします。スケーラブルかつ低コストで使いやすいQuest®のソリューションにより、効率性と生産性を最大限に高めることができます。Questは、グローバルコミュニティの一員としてイノベーションに取り組むための環境をお客様に提供すると共に、お客様の満足を追求しています。今後も、Azureクラウド管理、SaaS、セキュリティ、モバイルワーク環境、データ主導の洞察のための包括的なソリューションの提供を加速化してまいります。



Redmond誌リーダース・チョイス・アワード — 移行ツール